

平成 28 年 2 月 1 日
国土交通省東北地方整備局
八戸港湾・空港整備事務所

「八戸港の海辺づくりを考える検討会」を開催します。

八戸港は馬淵川からの流入土砂により航路・泊地の水深が浅くなることから入出港船舶の安全な航行を確保するため海底を掘る「^{しゅんせつ}浚渫」が必要不可欠であり、それに伴い浚渫土砂が発生します。

国土交通省八戸港湾・空港整備事務所では、^{しゅんせつ}浚渫土砂の有効活用を通じて人と海とのふれあいの場を創出することを目標に、沼館地区を候補地とした人工干潟造成の可能性について検討を行ってきました。

今回の検討会では、沼館地区の海域環境の特徴について報告するとともに、人工干潟を活用した「八戸港における海辺づくり」に向けた今後の方向性についてとりまとめる予定です。

1. 開催日時：平成 28 年 2 月 4 日（木） 14:30～16:00
2. 開催場所：八戸港貿易センター 3F 会議室
住所：八戸市豊洲 3-9（ポートアイランド）
3. 議事内容：①沼館地区の海域環境の検証について
②八戸港の海辺づくりの方向性について

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所

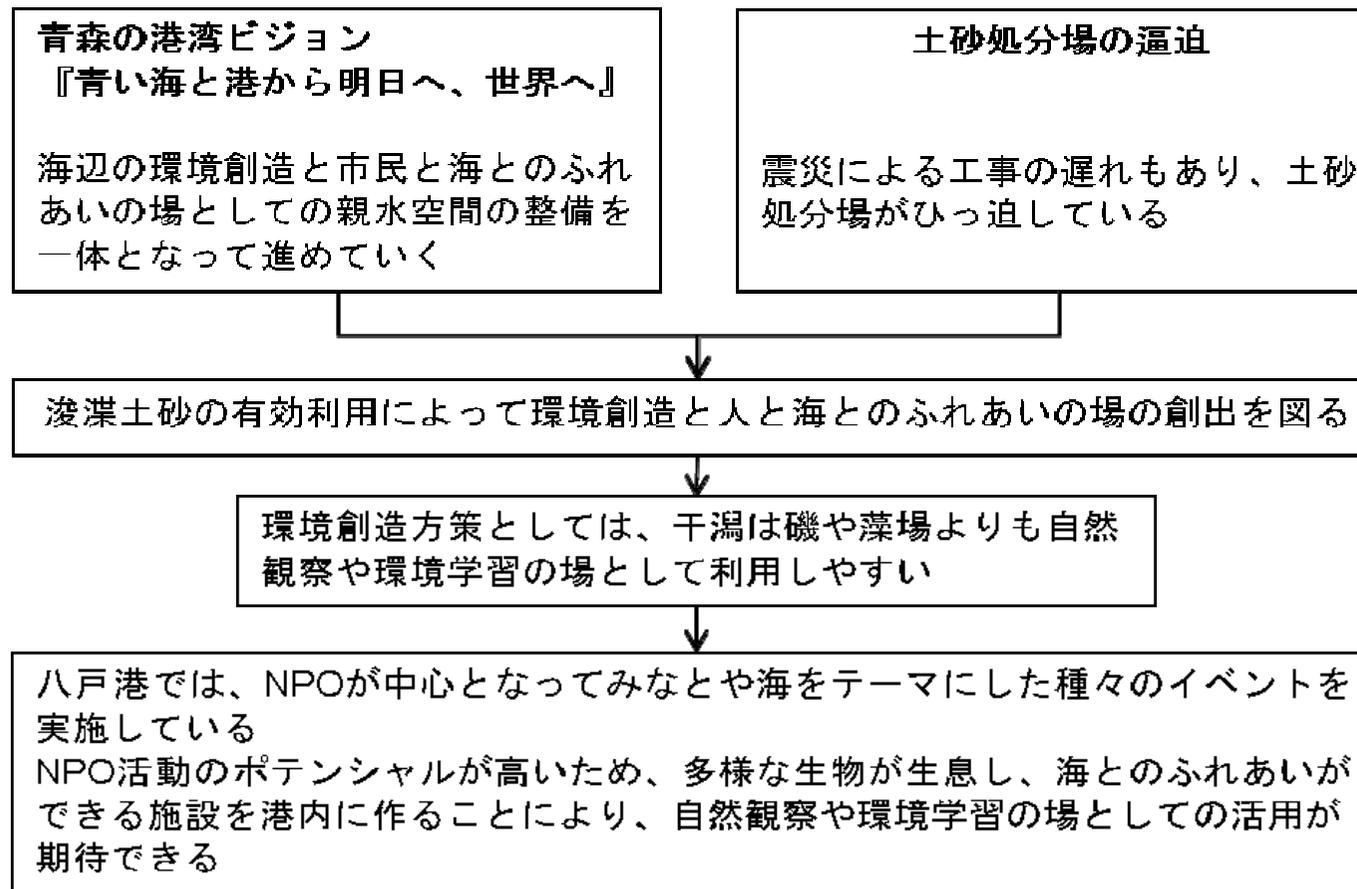
企画調整課長 ^{こいわ} 小岩 ^{としひろ} 利弘

電話 0178 (22) 9397

八戸港の海辺づくり検討会

東北地方整備局
八戸港湾・空港整備事務所

八戸港における「海辺づくり」の進め方

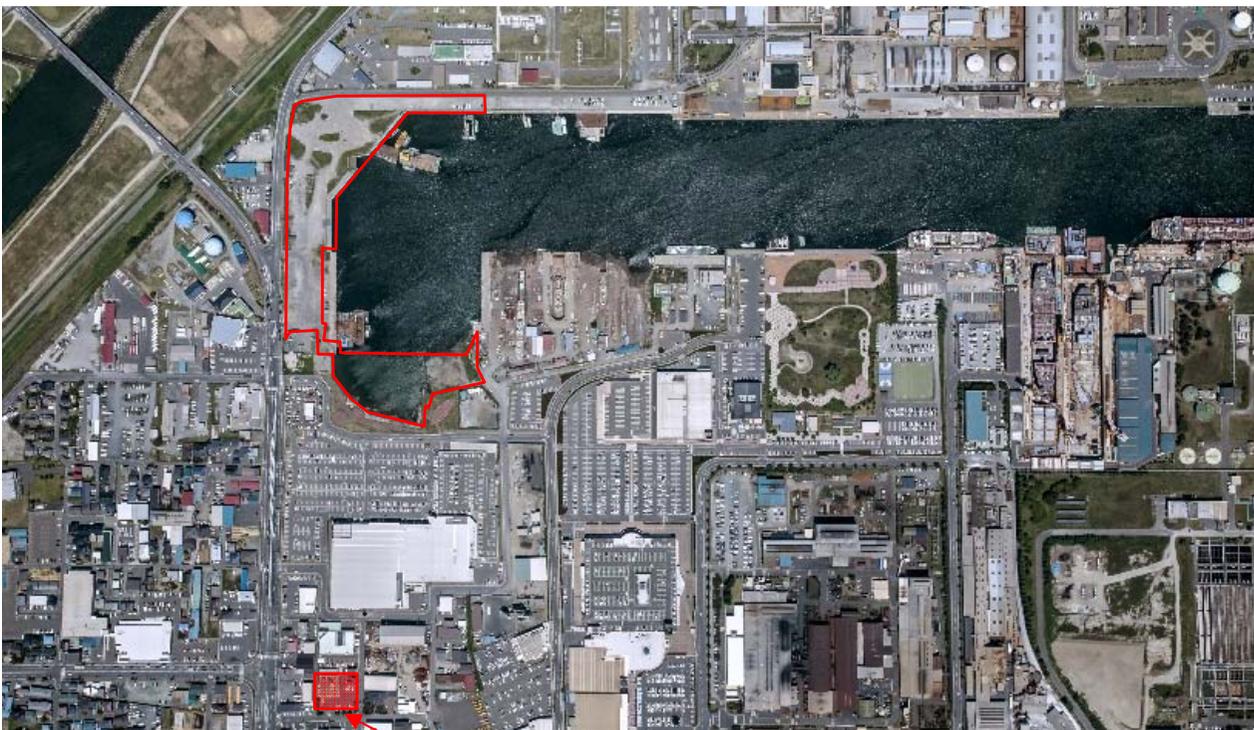


多様な生物の生息場として干潟を造成することにより
自然観察や環境学習の場として活用できる場を創出する

八戸港における干潟整備の計画案

- 整備候補地：沼館地区
沼館緑地造成計画にあわせて沼館地区とする

商業施設群に隣接して、沼館緑地2.9haを造成。
うち0.7haは埋立によって土地を造成。



八戸港湾・空港整備事務所

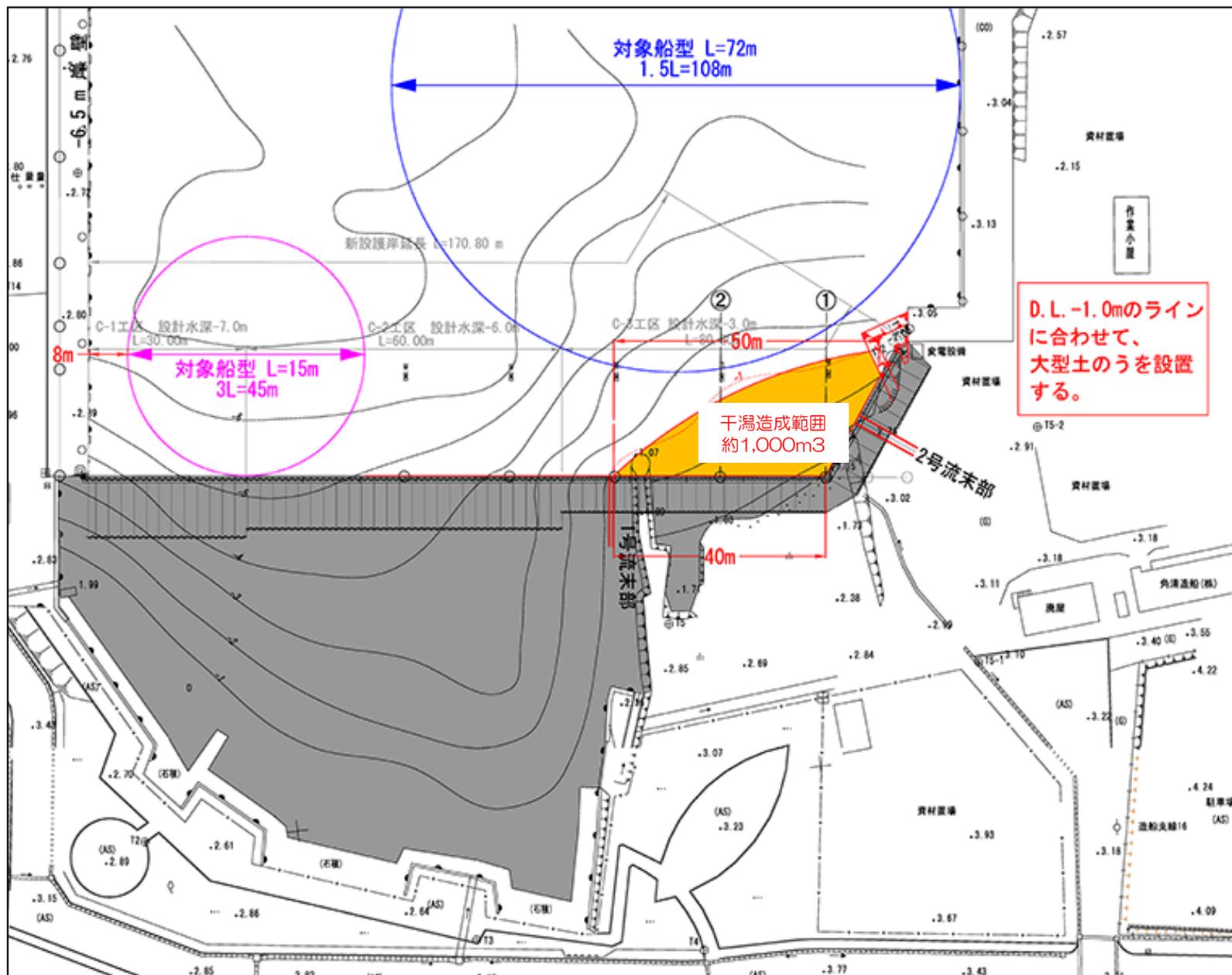


沼館緑地計画平面図(青森県整備中)

海辺づくりの施設整備案

● 施設の概要(平面配置)

- 現状の地形を活かし水深-1.0mラインに砂止めの大型土のうを設置して干潟を造成



八戸港の海辺づくりを考える検討会

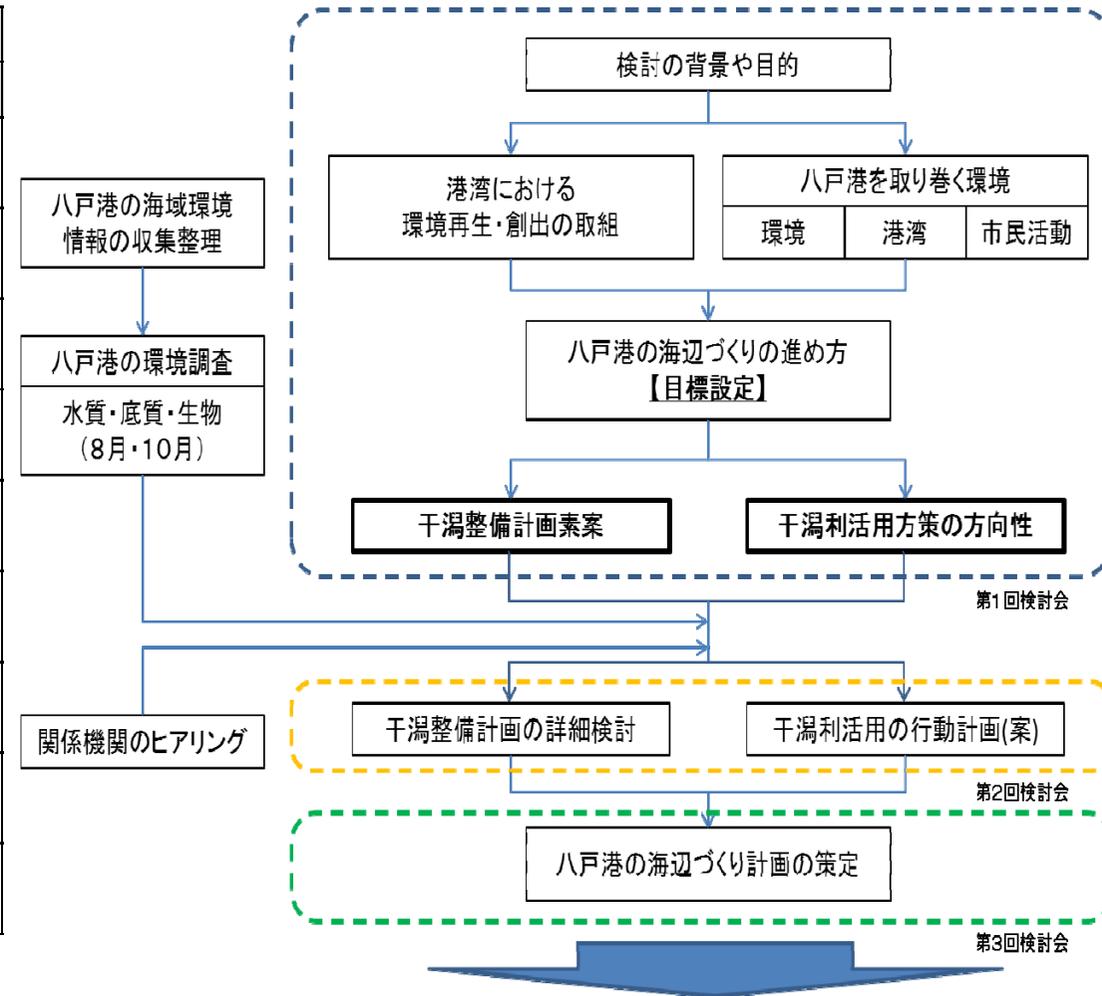
八戸港の海辺づくりを考える検討会 委員名簿

[敬称略・順不同]

区分	氏名	所属	役職
座長	ササキ ミキオ 佐々木 幹夫	八戸工業大学大学院 工学研究科社会基盤工学専攻	教授
委員	オカダ トモナリ 岡田 知也	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 海洋研究室	室長
委員	キリハラ シンジ 桐原 慎二	独立行政法人 青森県産業技術センター 下北ブランド研究所	所長
委員	キムラ タカン 木村 尚	NPO法人 海辺づくり研究会	事務局長
委員	マチダ ナオコ 町田 直子	NPO法人 ACTY	理事長
委員	コマイ ショウザブロウ 駒井 庄三郎	NPO法人 海の八戸NPO	理事長
委員	ヒラヤマ チョカズ 平山 千代和	青森県 県土整備部 港湾空港課	課長
委員	キド ヤスハル 木戸 康晴	三八県民局 地域整備部 八戸港管理所	所長
委員	イシグロ カズユキ 石黒 一之	八戸市 建設部	部長



検討の進め方



**地元団体が主体となって
運営管理を行う組織作りを支援**